

有田川町議会広報

ハワロ版

第69号

令和5年5月発行

QRコードから
議会の情報
をご覧ください



有田川町議会 検索



就任あいさつ

安心安全な
まちづくりをめざし



副議長
中島 詳裕



議長
谷畑 進

皆さまには、日頃より町議会ならびに町政に対し、温かいご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、有田川町議会議長および副議長に就任させていただきました。身に余る光栄であり、感謝申し上げますとともに、その重責にあらためて身の引き締まる思いであります。

本町は、過疎地域における人口減少問題をはじめ、若者の定住対策や高齢化対策、教育・福祉の

充実、巨大地震や風水害への防災対策、新型コロナウイルス感染症対策など、さまざまな課題を抱えています。

私たち議会は、これらの課題に積極的に取り組み、町民皆さまの期待に応えられるよう、また安心・安全なまちづくりをめざして、努力してまいります。

今後とも、皆さま方の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。就任のごあいさついたします。

新年度 さらなる町施策の充実に！

令和5年第1回定例会の一般質問は3月14日に行われ、7人の議員が登壇しました。傍聴を希望していても本会議は平日に開催しますので、議場へお越しただけの方はおられないと思います。本会議の内容をインターネットで視聴することもできますので、パソコンやスマートフォンなどからお気軽にぜひご覧ください。

一 般 質 問 **7**人の議員が登壇

殿 井 堯	人口が増加している地域の諸施策は	P 3
栗 山 昌 之	執行部検討項目の結果は	P 4
椿 原 竜 二	使用済み紙おむつ処分は保育所で！	P 5
増 谷 憲	子育て支援の充実を	P 6
本 下 雅 敏	災害から町民の命を守るために	P 7
堀 江 眞智子	暖房便座の設置を	P 8
岡 省 吾	「地域の未来を考える学習」意義は非常に大きい	P 9

(おもな質問項目を掲載しています)

※各議員ページのQRコードを読み取ると、一般質問の動画を視聴することができます。



殿 井 堯

人口が増加している 地域の諸施策は

問 都市公園や防災広場としての機能を有する施設の建設計画は。

答 防災広場としての機能を有する都市公園の整備を検討していきたい。県や関係機関と協議していく。

問 住宅が増えることによる農地の減少や排水対策は。

答 吉備地域は宅地化が進んでいる。農地は必要であり、豪雨時に雨水の浸透調節が働き、防災面での役割がある。排水対策は、危険箇所を確認し、水路の改修に取り組んでいく。



令和5年度中に教室を増築（藤並小学校）

問 児童が増え、教室が不足する藤並小学校の対策は。

答 令和5年度中に教室を増築し、教室不足は解消できる。

問 転入者への支援策は。

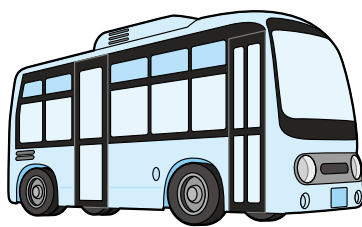
答 住居を新築し、居住される方に「すまい給付金」として1件あたり11万円を給付している。

人口減少地域の 諸施策は

令和4年度で110件を予定し、うち28件は町外からの転入である。

問 金屋学童保育所の建設は。

答 令和5年度に設計し、建設する計画。



問 高齢者の交通や医療、福祉施策は。

答 コミュニティバスや「みんなの定額タクシー」が利用できる。コミュニティバスは運行ルートの見直しをする。

医師の往診可能な医療機関が13カ所あり、通院が困難な方に対応いただいている。サロンやグループの活動を支援し、地域交流の推進と見守り強化を図っている。

問 廃止や休止の公的施設の維持管理はどうか。

答 基本は、町が維持管理を行い、施設による

っては地元の団体などに有効活用していただいている。老朽化で危険な建物は解体撤去している。

問 町道の維持管理はどうか。

答 道路の修繕など、これまでどおり行っていく。

問 耕作放棄地対策は。

答 令和4年度から町単独事業で「耕作放棄地再生事業」に取り組んでいる。遊休農地の再生に1アールあたり1万円、上限50万円を補助。新規就農者の確保が見込まれる。

財源は確保 できるのか

問 以上の事業を進めるうえで財源の見通しは。

答 補助金や有利な起債を使うが、優先順位を決めて実施していく。

執行部検討項目の結果は



栗山 昌之

問 町道の白線再塗装の予算確保は。

答 必要な予算を計上している。

問 電子教科書の試験的利用の実施によるランドセルの重量負担軽減は。

答 電子教科書の試験的活用は実施している。ランドセルの重量軽減を図るため、電子教科書の活用を今後検討していく。

問 ふるさと納税は10億円の歳入予算を組んでいるが見込額は。

答 約5億円になる見込み。

問 DX利用による郵送料などの軽減は。

答 約60万円の削減が見込まれる。

問 救急車の入れない区域の道路解消は。

答 1カ所解消した。

問 軽自動車救急車の購入計画は。

答 多目的消防車で検討を進める。

問 AEDの施設（建物）外設置は。

答 令和4年度は0カ所、令和5年度で2カ所を計画している。



問 住民票などの写しを第三者に交付する際、通知制度の進展は。

答 昨年度より登録者が0.1%増えた。今後とも一層の周知を図る。

全員通知は現段階では難しい。

問 「える・べーす（引きこもり、不登校の人のための居場所・戸別相談）」の実績と今後の関連事業計画は。

答 令和4年7月から利用が251件あり、うち小中学生の利用が75%。

教育委員会と連携し、心理面の改善を最優先に考え推進していく。

問 コンプライアンスに対する職員の意識付けは。

答 服務規律の確保、情報共有化、法令順守の再確認、総計予算主義の徹底など、職員研修を実施した。

問 ALECおよびポツポ絵本館の運営検討結果と改善点は。

答 令和5年度にALEC運営協議会を立ち上げ、その中で協議していく。



問 絵本原画の収集方針、展示方針は。

答 美術館の展示方針や保管体制を参考に検討していく。

問 町民への周知は。農業振興地域除外申請への影響は。

答 町民への周知は広報誌や回覧、ホームページでお知らせしている。

都市計画の変更点は

問 都市計画変更の概要は。

答 54年間変更されていない都市計画を、現況にあった計画に変更する。

問 防災関連の変更や計画はどうか。

答 都市計画区域内に防災公園の整備を予定している。

問 町民への周知は。農業振興地域除外申請への影響は。

答 町民への周知は広報誌や回覧、ホームページでお知らせしている。

農業振興地域の除外や編入申請は、令和4年10月より停止して迷惑をかけているが了承願いたい。

問 防災関連の変更や計画はどうか。

答 都市計画区域内に防災公園の整備を予定している。



椿原 竜二

使用済み紙おむつ 処分は保育所で!

問 令和4年6月定例会の一般質問で「保育所で発生する使用済み紙おむつを、保育所で処理ができるのか検討し、できるだけ処理できるようにしていきたい」と答弁があった。これは、子育て世帯の方から非常に関心の高い問題で「保育所で処理してもらえないようになるのか」「いつから処理してもらえないのか」「ずっと持ち帰りを不思議に感じていた」などたくさんのご意見をいただいた。先日、厚生労働省は「保護者が持ち帰らず、保育所で処分を」という方針を全国の自治体に示した。



パートナーシップ
制度の導入を

物価高騰対策は

一般質問後、どのような取り組みが行われるか、このように取り組むのか。

答 使用済み紙おむつを持ち帰るのは、衛生的な方法でないと考えている。

持ち帰りをなくせば保護者の負担軽減になり、保育士の振り分け業務も不要になる。

保育所長会で協議し、現状確認や問題点の共有を行ってきた。

その中で保管場所の確保と衛生管理の課題が示された。

問 前回も保管場所や衛生管理の課題があると答弁しているが、まだ解決できていないのか。

答 規模の大きな保育所は、保管場所や衛生管理の課題が残っていない。

規模の小さな保育所は、解決できると思っている。

課題は残っているが、できるだけ早い時期に保育所で処理できるようにしていきたい。

問 令和4年3月定例会の一般質問で取り上げ「制度の導入に向けて、先進事例を参考に研究していきたい」と答弁があった。また、2月22日の和歌山県議会でも「パートナーシップ制度導入に向け前向きに検討する」と岸本知事が答弁されている。

一般質問後、どのような取り組みが行われるか、このように取り組むのか。

答 部長会で、どの部署に対応が必要か検討を行い、人権擁護委員代表の方に相談した。

また、人権機関有田川理事会で、制度導入の説明を行った。

早期導入に向け取り組んでいきたい。

問 ロシアによるウクライナ侵攻を背景とした国際的な原材料価格の上昇に加え、円安の影響などから、日常生活に密接なエネルギー・食料品などの価格高騰が続いている。この事態を本町ではどのように認識をしているのか。

また、家計への負担が増大しているが支援策など考えているのか。

答 町民生活などへの影響が長期化し、大変深刻な事態であると考えている。

学校給食費の高騰分は町が負担する。

国や県の動向、経済情勢を注視しながら、財政状況を考慮し、有効な支援策を講じていきたい。

子育て支援の充実を



増谷 憲

問 0歳児から2歳児の保育料無料化の考えは。また、無料化した場合の財源額は。

答 現行のままでもいい。無料化する場合、令和3年度決算ベースで約2900万円が必要となる。

問 育休退園をなくすべきだと考えるが見解は。

答 出産前1カ月から出産後2カ月の期間が終了すると退園をお願いしているが、状況により判断している。

問 吉備地区では、園児数の増加で保育所へ入れない場合が出てくる。保育所の新設はど

うか。

答 金屋第一保育所の新設で対応していく。

問 正規保育士と会計年度任用保育士の人数はどうか。

答 正規保育士62人、会計年度任用保育士は92人。

問 地方自治法で学童保育の使用料（利用料）徴収の条例化が定められている。本町では条例化されていないが認識は。

答 学童の運営規定に定めていることに対応できると思っているが、研究していく。

補聴器の助成制度化は

問 加齢性難聴対策は認知症予防につながることを認識しているか。

答 認知症のリスクを軽減させる要因のひとつと認識している。

問 厚生労働省は、自治体の難聴対策が十分であり、対策を求めているが認識は。

答 対策は十分でないかと認識している。関係機関のご意見も聞きながら取り組みたい。

問 特定健診に聴力検査を追加し、難聴の実態をつかむことが必要ではないか。

答 国の基準になく、問診票に追加予定はない。実態をまとめたものはない。

問 障害手帳保有者のうち、補聴器購入に該当する人数と実際に購入した人数は。

答 聴覚障害の方は98人で、そのうち補聴器所有者は83人である。

問 補聴器の購入に助成をしてはどうか。

答 国や県、市町村の動向を注視し、高齢者福祉サービスの状況もみながら総合的に判断したい。現状は相談が

地域防災計画に降雪対策を

問 1月末から2月にかけて清水地域を中心として、数十センチから1メートルを超える積雪があった。道路への積雪、倒木や倒れた電柱の影響で

あれば耳鼻科の受診を勧めている。

生活や交通面に支障がでた。被害の状況はどうか。

答 町道172路線、林道36路線、国道や県道でも積雪や倒木で通行不能になった。

問 今回の降雪は雪害である。地域防災計画に対策を明記すべきではないか。

答 次期防災計画の中に盛り込んでいきたい。



降雪による被害



本下 雅敏

災害から 町民の命を守るために

問 南海トラフ巨大地震が30年のうちに発生する確率が70〜80%と報じられている。

災害時の準備として備蓄物資の状況はどうか。

答 南海トラフ巨大地震の発生1週間後の予測最大避難者数は、有田川町で4000人となっている。この避難者数を上回る備蓄の確保を進めている。物資内訳として、主食品1万3750食分、飲料水500mlで1万8000本、毛布5032枚。
そのほか、携帯トイレや紙おむつ、乳幼児



福祉避難所開設訓練

物品や生理用品、消毒液やパーテーションおよび組立式テントも備蓄している。

問 緊急避難所は何カ所を指定しているか。
答 現在、町指定避難所および指定緊急避難場所として64カ所。

問 災害時の情報伝達手段はどうか。
答 災害時には、防災行政無線放送、エリアメール、町防災アプリやSNSなどを駆使し、周知を行っている。

併せて、広報車巡回により避難情報など必

要な情報を伝達することを計画している。

問 高齢者や障がい者など、要支援者の情報共有はどうか。
答 要支援者の同意を得て「避難行動要支援者名簿」を作成し、災害時には避難支援や安否確認などに使用している。

問 防災力を高めるための企業との連携はどうか。
答 応援復旧活動に関し、人的・物的支援を民間企業や関係機関との間で57件の災害時応援協定を結んでいる。今後、迅速かつ広

く的確な活動が実施できるよう、新たな事業者とも応援協定を結べるように努めたい。

問 土木事業者との災害時連携はどうか。
答 「大規模災害時における応急対策業務に関する協定書」を結び、障害物の除去作業、道

路の応急作業、資機材や物資の提供などの支援を要請する契約を締結している。

また、例年台風や大雨による流出土砂の撤去に対し、迅速に対応

二次災害防止の町補助制度はどのようなものがあるのか。
答 住宅の耐震診断・改修費用、危険ブロック塀の撤去補助や、不良空家除却補助金など

がある。

補助対象要件や条件があるため、今後も周知できるように啓発活動に努める。

問 鳥尾川の浚渫や護岸整備の進捗はどうか。
答 毎年、県が継続的に河川内の伐木・除草・堆積土砂の浚渫や護岸の補強工事に取り組んでいる。

今後も、県に対し継続的な事業執行を求めていく。



防災対策が必要な鳥尾川

暖房便座の設置を



堀江 眞智子



暖房便座が設置されたトイレ

問 小中学校のトイレ暖房便座は、12月議会で「設置に向けて検討していく」と答弁されたが、その後の設置状況はどうか。

答 暖房便座の設置状況は、令和5年1月に安諦小学校多目的トイレへ設置した。

問 2023年度は、さくらんぼクラブ（御霊学童保育）の利用児童数が増加すると聞いた。現行の施設で対応できるのか。

答 令和5年度の学童保育申込者は、定員より多い申込み人数となる

問 さらに、全ての学校の設置に向けての計画はどうか。

答 早期設置に向け、検討していきたい。

希望者全員の受け入れを

っているが、全員を受け入れる予定である。

問 利用児童数が現状より増加した場合でも全員受け入れられるのか。

答 令和5年度からは、年度途中の申込者を受け入れるよう対応してくれることになっている。



保護者負担の軽減を

問 JAが「媒体持込手数料」を新設した。給食費や子ども貯金などでJAの口座を利用している場合、手数料はどれくらいかかるようになるのか。

答 JAありだから令和4年12月末に説明を受けたところ、給食費や子ども貯金などJAの口座を利用している場合、紙媒体や電子媒体を問わず口座振替1件につき110円、月額利用料は5500円が必要になる。

法人ネットバンクを利用した場合の手数料は口座振替1件につき33円、月額利用料は3300円になる。

いずれの場合も、給食費の振替は手数料がかかるようになる。

全児童生徒が利用すると、月額10万円程度の手数料かかると見込んでいる。

問 保護者負担が増えることにならないよう軽減措置の考えは。

答 手数料が発生するのは令和6年度からと説明を受けており、保護者負担が増えないよう検討していく。

「地域の未来を考える学習」 意義は非常に大きい



岡 省 吾

問 去る、1月20日に「清水地区を魅力的にするプロジェクト」というテーマで八幡中学校3年生による発表会が開催された。

次世代を担う皆さんがふるさとのことを真剣に考え、学ばれることは非常に有意義であると考えます。

愛郷心を育む教育の意義をどう捉えているか。

答 自分たちの町をどう活性化していくかということを仲間とともに考える活動は、まさに「思考力・判断力・表現力」を鍛える最適な学習である。このような学習は、ふるさとを大切に想う気持ちを

問 「総合的な学習」の一環で行われたこのたびの発表会。ほかの中学校での「総合的な学習」はどのようなことを学ばれているか。

答 ほかの中学校ではキャリア教育として、職場訪問や職場体験を実施し「仕事を考える学習」を行っている。また、手話を学ぶ学



熟成することにつながると認識している。今後、より発表会を充実したものにできるような支援したい。

習や、地域の祭りに参加する活動など多岐にわたり「地域を考える学習」も取り入れている。

これまでの一般質問 その後は

問 「免許外教科担任」の是正に向けて、県教育委員会の動きに進展はあるか。

答 令和5年度より、「免許外教科担任」の解消のため、教員加配の導入が行われる。

これは、複数校兼務による教科指導を計画的・効果的に実施することを目的に、各市町村から希望があった場合に配置される。

答 清水行政局国道側駐車場の隣接地を取得し、これまで外構、土地改良、排水溝や進入路の造成工事を行っている。

問 消防指令業務の県下一元化に関して、その後の動向はどうか。

令和5年度は整備工事に着手する。木製遊具や東屋、木製フェンスなどを設置し、清水地域にふさわしい、木のぬくもりを感じられる公園としている。年内の完成をめざしている。

問 川町消防本部と湯浅広川消防組合の指令共同で検討中。



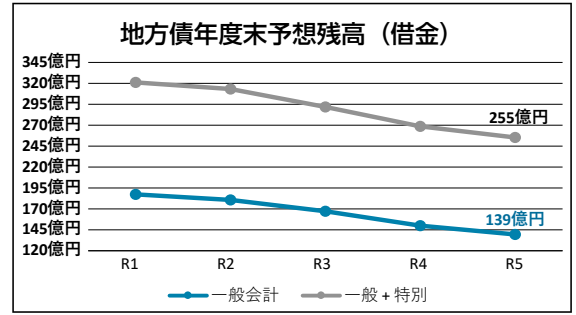
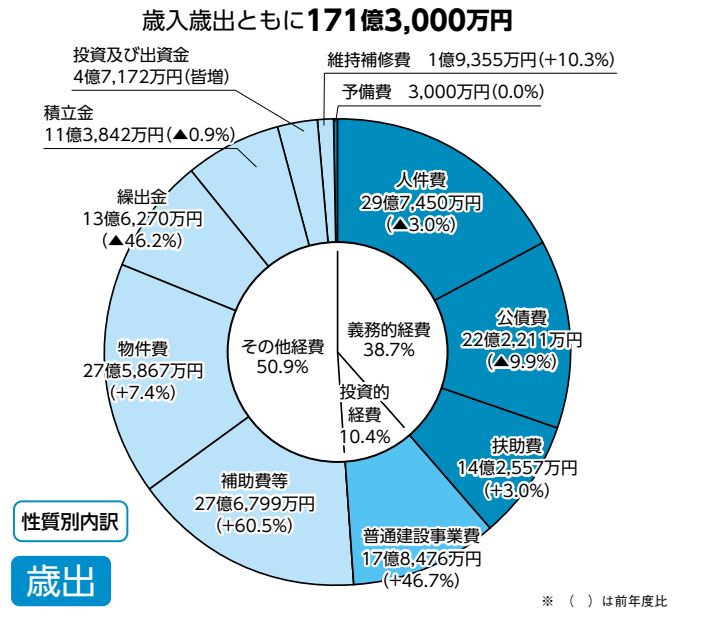
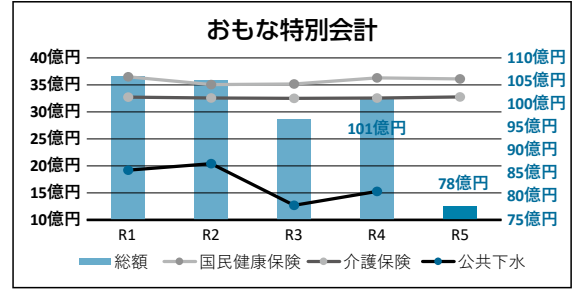
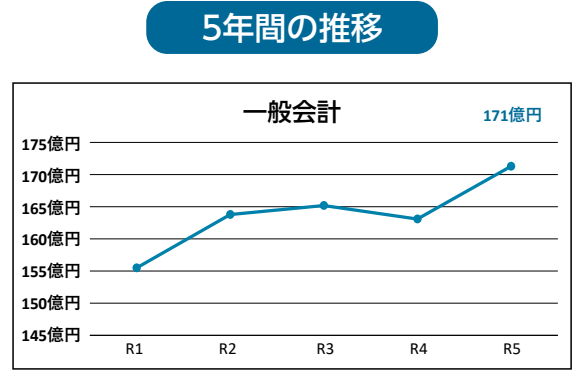
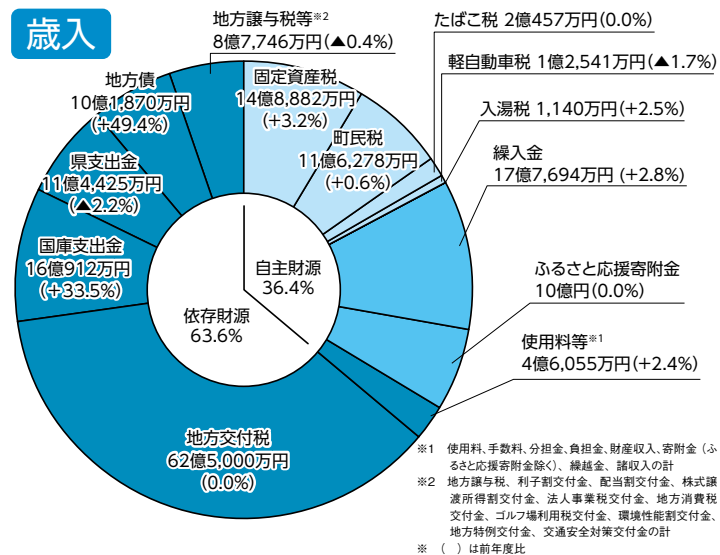
現在整備中の公園（清水地域）

令和5年度一般会計当初予算 171億3000万円 可決！

～前年度比8億2千万円の増～

～ 事業の緊急性や必要性が反映された予算編成 ～

令和5年第1回定例会は、3月2日から30日までの日程で開催し、本定例会に提案された令和5年度一般会計・各特別会計予算、令和4年度一般会計・特別会計補正予算および、条例の制定・一部改正・廃止、請負契約、道路線の認定、人権擁護委員候補者の推薦など、提案された議案を審議し、すべて原案どおり可決しました。



性質別内訳

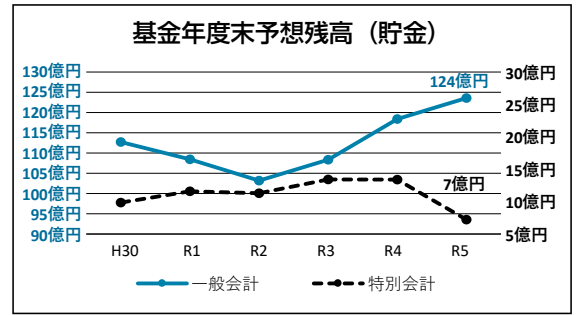
歳出

※ () は前年度比

公営企業会計予算

地方公営企業法の適用を受けその事業収入により経営される会計
 ※令和5年度より簡易水道事業および公共下水道事業等が公営企業会計となりました。

	水道事業		簡易水道事業		下水道事業	
	【収益的】	【資本的】	【収益的】	【資本的】	【収益的】	【資本的】
収入	5億 710万円	7,720万円	4億9,951万円	2億5,922万円	10億7,562万円	15億5,975万円
支出	4億5,703万円	2億 166万円	4億9,876万円	4億1,760万円	9億6,547万円	19億 916万円



令和5年度から特別会計は公共下水道分(5億1511万円)を除く

項目	金額	事業内容
総務費	4,654	生活バス運行補助金(バス2台購入の補助金含む)
	1,430	すまい給付金(有田川町に住宅を新築・購入し居住する方に給付)
民生費	6,219	障害者福祉費
	1,722	重度心身障害児者医療費扶助(対象者414人)
	3,537	田殿老人憩いの家解体撤去工事
	1億0,438	有田周辺広域圏事務組合負担金(潮光園解体工事)
	2億1,126	子ども・乳幼児医療費扶助(対象者子ども2416人、乳幼児1283人)
	8,747	保育所広域入所、私立保育所運営委託料
	1,900	学童保育施設運営委託料
	2,705	出産・子育て応援給付金(190人の見込み)
	2,705	ひとり親家庭医療費扶助(対象者688人)
衛生費	1億4,809	環境衛生費
	2億8,062	有田聖苑改修工事負担金
	2,169	有田周辺広域圏事務組合(環境センター分)負担金
	1億6,222	ごみ収集パッカー車2台購入
	3,335	有田周辺広域圏事務組合(クリーンセンター分)負担金
農林水産業費	1,887	有害鳥獣捕獲報償費
	1,575	農業次世代人材投資事業補助金
	2,480	新規就農者育成総合対策事業補助金
	2,480	私有林間伐事業委託料
商工費	1,692	森林環境譲与税活用費
消防費	1,707	観光費
	1,707	公有財産修繕(コスモスパーク、鉄道交流館、ふるさと体験施設ほか)
	1,707	可搬消防ポンプ1台、小型動力ポンプ付積載車2台購入

おもな土木工事箇所	金額	おもな土木工事箇所	金額
つづら農道(久野原区)	2,500万円	町道 歓喜寺松原修理川線(松原区)	4,250万円
林道峠上二澤線(二澤区)	8,370万円	町道 黒松西ヶ峯線(黒松区)	3,200万円
丹生図橋(丹生図区)/滝谷橋(長谷川区)	1,800万円	町道 西村線(上六川区)	1,500万円
大沼トンネル(大蔵区~沼谷区)	2,700万円	町道 吉田新田線(小川区)	2,000万円
町道 久野原沼谷線(板尾区)	5,100万円	町道 高畠線(下津野区)	2,000万円



一般会計

問 起業支援補助金は、若者が本町で人生をかけた起業を応援する施策である。増額されていないのが残念だが見解はどうか。

答 県補助金の活用や商工会の商業セミナーの紹介など、できる範囲で精一杯支援する。

問 起業支援補助金は一年に1回の公募だが、複数回できないか。

答 1回目の応募の状況に応じて考えていく。

問 老人福祉費の介護手当金は令和2年度から1000円になった。以前の2000円に戻すべきでないか。

答 手当金の制度ができた当初と比べ、介護施設や在宅サービスが整備されたので増額の子定はない。

問 福祉タクシー券は、車に乗れない高齢者や

免許返納者も対象にすべきではないか。

答 高齢者や免許返納者には別制度(コミュニティバス)がある。また、要件を満たす高齢者には車イスやストレッチャー対応の自動車利用制度がある。

問 正規保育士を増やすべきではないか。

答 検討していきたい。

国保特別会計

問 新型コロナウイルス感染症が2類から5類に変更後、医療費などは自己負担になるか。

答 国の方針では、検査料や入院医療費が自己負担となる予定。高額療養費制度の自己負担分を月に最大2万円補助するが、期限が設けられている。

問 未就学児の均等割額を当면中学生まで無料化してはどうか。

答 未就学児の均等割

水道事業会計

額は軽減されている。今後、国の動向に注視していく。

問 国は大規模災害に備えて、給水車の台数増を求めている。台数を増やす考えはあるか。

答 令和6年度で予算化していく。

問 2t車以上の車両は準中型自動車免許証が必要である。職員の免許取得が必要では。

答 免許取得の要綱を作成し、取得させたい。

下水道事業会計

問 下水道事業は今後、料金収入だけで維持できないと推測するが、見通しはどうか。

答 非常に厳しい状況だが、努力してやっていく。

令和5年度 おもな事業



清水地域公園整備

3993万円

町産材を使った木製遊具を設置し、公園整備を進めます。

新しみず温泉整備

7億3170万円

現在の施設の隣へ、新しい温泉施設を整備します。



国指定史跡土地等購入

1億0379万円

史跡「藤並館跡」の土地を一部購入します。

金屋学童保育施設 金屋第一保育所整備

1億6350万円

鳥屋城小学校の隣接に、学童保育施設を建設します。また金屋第一保育所整備のための設計を行います。



二川温泉・宿泊 「白馬」解体撤去

1億2379万円

使用できなくなった施設の解体撤去工事を行います。（温泉源泉埋め戻し工事1133万円を含む）。

移動販売車 運営費補助事業

314万円

買物困難地域に移動販売車による移動スーパーを展開する事業者に運営費等の一部を補助します。（車両購入補助金100万円含む）。



プラスチック収集場 設備更新

959万円

老朽化したベルトコンベアの改修を行います。

**令和4年度
一般会計補正予算(専決処分)**

2290万円

国の第2次補正予算により創設された出産・子育て応援交付金を活用し、経済的支援を実施するため、専決処分したものの。

【対象】 令和4年度中に妊娠・出産の方に

【給付金】 妊娠届け後・出産届け後、各5万円

**令和4年度
一般会計補正予算
【おもな事業】**

○機械器具借上

300万円
除雪倒木撤去

○工事請負費

7700万円
林道日物川境川線
町道歎喜寺松原修理
川線 3347万円

大沼トンネル
2900万円

○測量設計委託料

4600万円
町道北入山上浦線
(三瀬川地区)



○消耗品費

630万円
各学校に消毒液などを購入。

○備品購入費

630万円
各学校に換気のための機器や空気清浄機などを購入。

条例の制定・一部改正・廃止

制定	特定用途制限地域における建築物等の用途の制限に関する条例	都市計画区域の変更に伴い、建物の用途を制限するもの
	移住就業支援拠点施設条例	旧城山西小学校を移住就業支援施設に整備したため、施設の設置や管理に関する事項を定めるため
	林業振興センター設置条例	清水行政局内に林業振興センターを設置し、町の組織として明確な位置づけにするため
一部改正	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例	宿日直勤務を命じられた会計年度任用職員に報酬を支給するため
	国民健康保険条例	法改正により、出産育児一時金の支給額が引き上げられたことに伴う改正
	学童保育所設置条例	藤並学童第4、御霊学童第2を新設することに伴う改正
	個人情報保護・情報公開審査会条例	町議会の個人情報の保護に関する条例が制定されたため、現行条例に議会の文言を追加するため
	消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例	消防団員の処遇改善に向けて、報酬や費用弁償支給額が見直されたため
廃止	使用料の徴収に関する条例	吉備中学校武道場のエアコン機器を利用者が利用するにあたり設備の使用料を定めるため
	林業交流活性化センター条例 金屋町立中学校施設整備資金基金条例	二川温泉と宿泊「白馬」解体撤去に伴い、条例を廃止するもの 基金残高のすべてを取り崩し、今後も積み立てる見込みがないため廃止するもの



○使用料の徴収に関する条例の改正

吉備中学校武道場のエアコン機器を利用者が利用するにあたり、設備の使用料を定めるため。

問 スポーツ団体が学校施設のエアコンを利用できるようになった。利用料金は、事前に関係者と協議を行ったのか。

答 スポーツ団体と協議し、金額は理解をいただいた。

請負契約

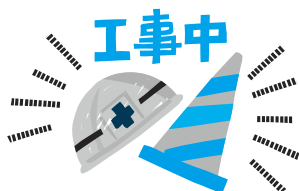
○藤並小学校校舎増築
工事 8910万円

○(仮称)新しみず温泉新築工事(建築)
4億664万円

問 工事期間が単年度となっている。想定外のことが生じることも考えられるが、工期内に間に合うのか。

答 業者は工期を守ってくれると思う。今回は設計業者・監理業者を専門の業者に委託する。

また、町の管理監督も強化した体制で進めるので問題はないと考える。



委員の推薦

◎人権擁護委員
候補者の推薦

山戸敏裕氏…板尾
新谷信子氏…粟生
林ちさと氏…清水

全国町村議会議長会
自治功労者表彰

西 弘義 議員



15年以上にわたり、町議会議員として地方自治の発展に顕著な功労が認められ、全国町村議長会より表彰されました。

令和5年 第1回定例会の採決状況 (誌面の都合上、賛否の分かれた議案のみ掲載します)

議案名	議員名	議員名													
		濃添	栗山	本下	椿原	中島	星田	谷畑	西	林	岡	森谷	堀江	増谷	殿井
令和5年度 有田川町一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度 有田川町国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度 有田川町後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度 有田川町下水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(注) 森谷信哉議員は、議長のため採決には加わらない。 ○は賛成 ×は反対

職名	氏名	委員会名	氏名	委員会名	氏名	
議長	谷畑進	総務文教福祉 常任委員会 (8)	◎星田仁志	下水道事業対策 特別委員会 (8)	◎星田仁志	
副議長	中島詳裕		○森谷信哉		○栗山昌之	
議会運営 委員会 (6)	◎殿井堯之 ○栗山昌之 椿原竜二 星田仁志 林宣男 増谷憲		濃添勇作		濃添勇作	
			栗山昌之		本下雅敏	
			谷畑進		西弘義	
			林宣男		中島詳裕	
		堀江眞智子	岡省吾			
一部事務組合議会名	氏名	産業建設住民 常任委員会 (8)	◎椿原竜二	国道・国土 強靱化対策 特別委員会 (9)	◎林宣男	
			有田周辺広域圏 事務組合議会議員 (3)		○西弘義	○中島詳裕
			有田郡老人福祉施設 事務組合議会議員 (3)		本下雅敏	○椿原竜二
有田聖苑事務組合 議会議員 (2)	濃添勇作 ○増谷憲	広報広聴 常任委員会 (6)	中島詳裕	議会活性化調査 特別委員会 (8)	谷畑進	
			星田仁志		岡省吾	増谷憲
和歌山県後期高齢者 医療広域連合議会 議員 (1)	谷畑進		◎増谷憲		◎中島詳裕	
			○濃添勇作		○本下雅敏	
			栗山昌之		濃添勇作	
			本下雅敏		星田仁志	
			椿原竜二		西弘義	
			岡省吾		堀江眞智子	

職名	氏名
監査委員	森谷信哉

※◎は委員長、○は副委員長 () 内の数字は定数

※一部事務組合の◎は議長、○は副議長

逝去



片畑進之 議員

去る3月22日、片畑進之氏が逝去されました。片畑氏は、平成30年に有田川町議会議員として初当選。二期目として活躍中でした。在任中は副議長も歴任され、円滑な議会運営に尽力されるなど、多年にわたり尽くされた多くの功績は、有田川町の今後の発展の上に、脈々と伝えられることと思えます。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

総務文教福祉常任委員会



消防本部指令センター

【消防本部】
 ○消防団員報酬改正
 左表のとおり

消防団員報酬（年額）	
分 団 長	¥42,000 → ¥47,000
副分団長	¥25,000 → ¥30,000
班 長	¥22,000 → ¥27,000
団 員	¥20,000 → ¥25,000

○消防団員出動
 報酬改正

2時間未満で2千円。以降1時間以内超過ごとに1千円加算。最高7時間以上は8千円になります。

○湯浅広川消防組合との指令共同検討会
 ・令和5年10月、指令共同の合意をめざし検討を行う。
 ・令和7年度運用開始をめざし施設などの

整備を行う。
 ・指令センターは、有田川町消防本部で合意しています。

【教育部】

○藤並学童保育施設
 令和5年度の利用申込者数は202人となり、既存の3施設での受け入れが困難になったことから、藤並公民館の2階を利用し対応する計画です。

意見

近年の児童数の増加をみると長期的に考えて計画しなければならない。学校や学童保育は、余裕をもって使える場所の検討をしてほしい。

産業建設住民常任委員会



移住を支援するための「ふたがわ寮」

【商工観光課】

○移住就業支援
 拠点施設条例

施設（旧城山西小学校）の完成・開業を前に施設の設定および管理運営に関する条例制定の説明を受けました。また、建設工事がほぼ完了した施設を視察し、運営を行う「一般社団法人しろにし」と意見交換を行いました。

○令和5年度財団法人ふるさと開発公社の事業計画および予算

事業収入の予算額は7200万円（令和4年度比約3%増）で、情報発信を強化します。事業費用は食料などの仕入れ価格上昇の影響から1620万円（約13%増）と見込んでいます。
 令和6年度から新施設

【建設課】

○町道路線の認定

町道1018号線（下津野地内）
 幅員 6m〜10・27m
 延長 67・93m



設でしみず温泉の営業が始まることを機に、公社としての立場を考慮しながらも、企業としての自立性を高めていくことを期待しています。



活動に見合った「議員報酬」は

議会運営委員会・広報広聴常任委員会

令和5年1月26日から27日にかけて、議会運営委員会と議会広報広聴常任委員会の合同視察を、神奈川県寒川町、愛川町にて行いました。

寒川町は人口約4万7千人（本町の約1.8倍）。面積は約13km²（藤並地区程度）で、首都圏に近くベッドタウン化している町です。

予算規模は一般会計で約150億円（本町約171億円）です。

議員定数は、平成21年から現在まで18人。

議員報酬は、以前は神奈川県内町村の平均額より低かったのですが、専業議員が増えたことや通年議会による登庁回数の増加、町民の大きな異論がなかったことなどから、平成28年に報酬額を1割程度引き上げています。

議員報酬（月額）

	寒川町	愛川町	有田川町
議長	47万9,000円	44万5,000円	30万円
副議長	39万7,000円	37万2,000円	26万円
議員	36万8,000円	34万円	23万円

ペーパーレス化に向けて

タブレット端末の活用は、平成27年3月議会から運用を開始し、



研修で全委員がタブレット端末を活用しました

同年12月議会から予算書や決算書を除いて完全ペーパーレス化しています。

議員はタブレット端末の使用料として年間2万400円を政務活動費から負担しています。また端末機使用基準を設けて禁止事項などを定めており、本会議など、認められている会議での使用と規定しています。

広聴活動の意義

寒川町議会は、町民との意見交換会を「ワールドカフェ」と称して行っています。これは会場内でBGMを流し、リラククスして対話できるようにしています。

1組4〜5人単位でグループ替えをしながら「話を聴く」「断定しない」「気づきを大切にすること」「1人がしゃべりすぎない」ことを重視しています。

第1回目のカフェは「開かれた議会」をテーマに議員17人、一般26人、他議会から10人が参加し開催されました。

運営は議員が行い、内容は議会広報へ掲載しています。

愛川町議会は平成23年度に制定した「愛川町議会基本条例」に議会と町民の交流を明記し、平成24年度から広聴活動を実施しています。

開催回数は、町民との場合は年1回、各種団体とは年2回を計画。開催の内容や方法は、広報広聴常任委員会ですべて決めています。

町民との意見交換会で出された要望・提言の内容は精査され、町施策に反映しています。広聴活動の効果として、町民の意識が高くなり、議会の役割が理解され、町民サービスの向上につながった事例もあります。

まとめ

寒川・愛川両町とも面積が小さく、財政力があり、議員報酬額も高く設定されています。タブレット端末が有効に活用されており、有田川町議会でも活用の検討を行っています。広聴活動は、町民と直接会って意見を聴ける場として、とても有効であると考えます。有田川町議会でも広聴活動の実施に向けて検討しています。



「町民の皆さまへ」

◎次回定例会の予定
令和5年第2回定例会は6月6日開会予定で、一般質問は6月15日、16日に行う予定です。
ぜひ、傍聴にお越しください。

◎請願・陳情の受付

第2回定例会での審議を希望する場合は、5月29日までに議会事務局へ提出してください。

お問い合わせ ☎22-133294
吉備庁舎4階議会事務局まで

広報広聴常任委員会

- ◎ 増谷 憲
- ◎ 濃添 勇作
- 栗山 昌之
- 本下 雅敏
- 椿原 竜二
- 岡省 吾

◎は委員長
◎は副委員長

編集後記

有田川町の全議員が無投票で当選し、はや一年が経過いたしました。

先日行われた「和歌山県議会議員選挙」では、14選挙区中、9選挙区が無投票という結果でした。

議員のなり手不足は全国的な課題とされ、私も各メディア（読売新聞・関西テレビ・ABEMAなど）で取材を受けたり、ゲスト出演をしました。

議員定数や報酬など問題視されていますが、私は「若年層の政治離れ」が一番の課題だと思っています。

この「かわら版」には、金額の高い事業だけでなく、関心度が高いと思う事業も掲載するようにしています。ひとりでも多くの方に、感心をもって読みいただき『政治参加』につながれば幸いです。

(椿原 竜二)